

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	光環境制御シミュレーション小委員会		主 査 名：本間 睦朗 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：大井 尚行
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・質的な観点に十分に留意すべき光環境制御において、その事例の調査を行う。 ・量的質的に適切な光環境を実現するための制御手法とシミュレーション手法についてニーズシーズ両面から検討を行う。 上記の成果を示す場として、光環境デザインシンポジウムを開催する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：本間睦朗 (立命館大学) 幹事：加藤未佳 (日本大学) 委員：市原真希 (大成建設)、大塚俊裕 (清水建設)、加藤元紀 (日建設計)、小島義包 (大林組)、小林光 (東北大学)、杉鉄也 (竹中工務店)、原直也 (関西大学)、鈴木広隆 (神戸大学)、平島重敏 (旭硝子)、細淵勇人 (秋田県立大学)、向健二 (パナソニック)、宗方淳 (千葉大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	光・視環境制御 WG 省エネルギー性に加え、視的快適性や健康などヒューマンセントリックな視点を踏まえ、光環境制御技術の情報収集を行い、普及に向けた課題や評価手法に関する課題等を整理し、それらの解法を探る。 昼光制御シミュレーション WG 光環境のシミュレーション技術及びその結果に基づく機器の制御方法の技術についての最新情報を収集し、かつ委員同士の持つ技術を組み合わせ新たな制御シミュレーション手法の開発等に取り組む。		
2020 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	0 回 (年度内計画を含む) ただしメールでの不定期のやりとりを行った。
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「光環境のシミュレーション・制御・評価と設計」 参加者数 ●名
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 各 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	シンポジウム開催が今年度の大きな目標であった。 これが成功を収めれば、目標は達成できたと評価できる。
委員会活動の問題点・課題	特になし

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2021 年 3 月 16 日にシンポジウムを開催予定。これをもって、今年度の大きな目標は達成し得たと評価できる。しかし、今年度は委員会の正式開催には至らず（目標であったシンポジウムの開催が、昨年度の企画を延期開催するものだったので、内容に対する意見交換の必要も無く、委員会の開催を要しなかった）、なお一層の闊達な議論はできていない。</p> <p>是非とも、シンポジウムにて闊達な意見交換を行いたいものである。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。